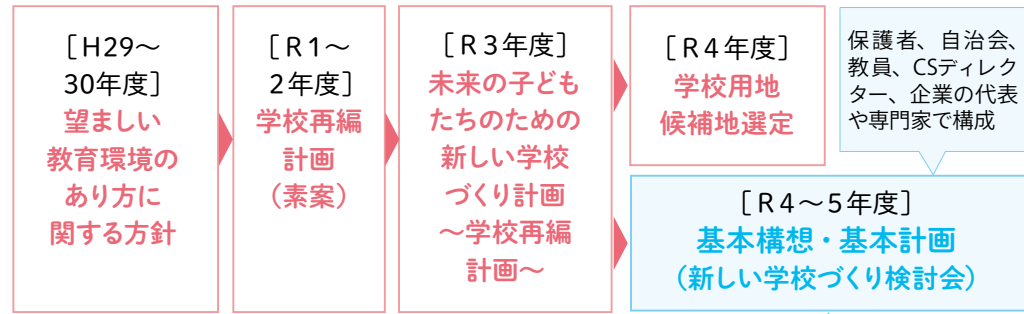


## これまでの検討の流れ

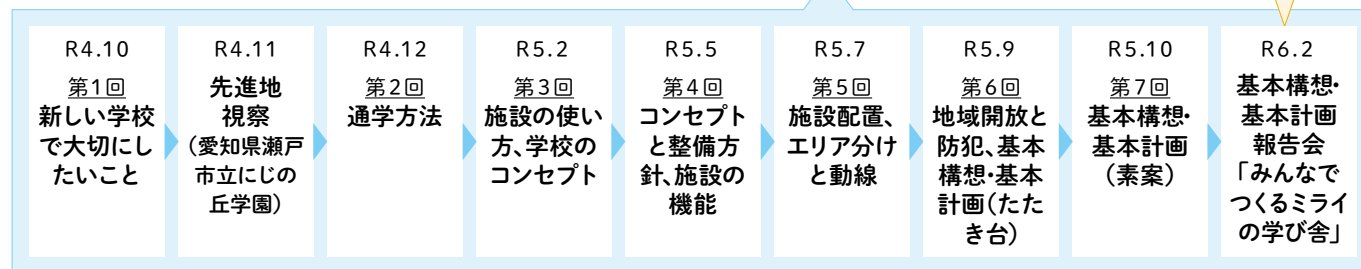
新しい学校が「みんなの学校」として愛される施設となるよう、教育委員会だけでなく、多様な組織や人が計画策定のプロセスに関わる体制により検討を重ねてきました。これまでに、延べ約1万人の皆さんに関わっていただき、9千件以上の意見をいただきました。



い〜らで報告会を開催し、約250人が参加。基調講演やパネルディスカッションをとおして、基本構想・基本計画の内容を共有しました。



基調講演を行う講師



\*第1回は相良・榛原地域で合同開催

## 今後の取り組み(予定)

\*スケジュール(案)などは状況により変更する場合があります。

年度	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033
設計・本体工事	造成設計(道路含)				基本設計・実施設計					義務教育学校開校
造成工事・外構整備		地元説明・用地取得		造成工事			建築工事		引越し	
埋蔵文化財			発掘調査							

年度	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033
設計・本体工事	基本設計・造成設計(予備道路含)・実施設計						義務教育学校開校			外構整備完了
造成工事・外構整備		地元説明・用地取得	造成工事		建築工事	引越し	校舎解体	駐車場ロータリー		
仁田体育館解体工事	設計	解体工事								

## 推進に向けて

- ▶開校4～5年前から「(仮称)開校準備委員会」を設置し、教育目標、行事、校名、校章、校歌、PTA組織のほか、スクールバスの便数や停車場所などを検討します。また開校準備に先駆け、スクールバスが着実に運行できるよう、運行方法や通学路などを協議します。
- ▶建築設計段階においては、学びやすく使いやすい施設となるよう、子どもや教職員だけでなく、保護者や地域の意見を聞く機会を設け、設計に反映できるように進めます。
- ▶開校に向けては、市役所内の組織体制を整えらるとともに、関係機関と適切な情報共有や協議を進めます。
- ▶地域でも説明会を行っています。ご希望の際はご連絡ください。



検討過程の詳細や基本構想・基本計画の内容は、右の2次元コードから市ホームページでご覧いただけます。



市ホームページ

# みんなで作る ミライの学び舎

## 牧之原市義務教育学校施設整備 基本構想・基本計画を 策定しました Vol.2

市では、市立小学校8校、中学校2校を再編して、新たに1年生から9年生までを一貫して育てることができる「義務教育学校」を2校つくります。  
2月号に引き続き、1月末に策定された「牧之原市義務教育学校施設整備基本構想・基本計画」(以下「基本構想・基本計画」という。)の内容についてお伝えします。  
問い合わせ 学校再編推進室 鈴木宏洋 ☎⑤2640



2月号はこちらから読むことができます(市ホームページ)

## 学校敷地と大まかな配置などの考え方

令和4年度に「牧之原市学校用地候補地選定委員会」において、安全性、土地利用、教育環境、利便性、経済性、地域性などの観点から両地域の候補地を選定し、教育委員会に提案しました。教育委員会はこの提案を受け、造成や配置などを検討した結果、望ましい施設の建設が可能と判断し、学校敷地を決定しました。

### 相良地域の位置と配置案、造成の考え方

#### 敷地位置

国道473号バイパス  
大沢インター  
チェンジ北側周辺

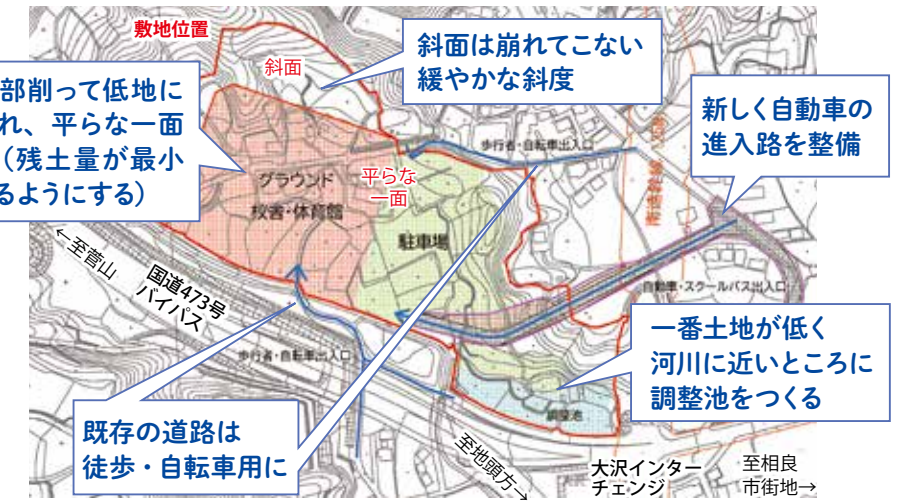
#### 敷地面積

約65,000平方メートル

#### 平地面積

約42,000平方メートル

\*配置は一例であり、設計時に改めて検討します。



### 榛原地域の位置と配置案、造成の考え方

#### 敷地位置

市立榛原中学校および周辺

#### 敷地面積

約72,000平方メートル

#### 平地面積

約63,000平方メートル

周辺の渋滞緩和対策(駐車場にロータリーの整備、迂回路など)

\*配置は一例であり、造成設計完了後に改めて検討します。

